



昭和55年11月2日(日)に第1回浜商デパートを開催し、途中休止期間を挟んで、昨年度19回目を開催しました。浜商デパートは模擬株式会社による会社組織で運営されており、商品の仕入れから販売までを生徒が主体的に実践し、商業に関する知識や技術を実践を通して身につけることができます。



将来の自分を思い描きながら実践!

「浜商デパート」とは、本校が商業の学びの集大成として実践している学校行事です。商品の仕入れから販売、そして、決算報告までを生徒が主体的に実践します。

3年間で様々な業務を体験し、実社会に近い学びをすることが出来ます。また、3年生になるとデパート経営グループという、デパート全体を動かす業務も担当することが出来ます。商業科目の学びを地域の方々へ還元し、地域から愛され必要とされる学校を目指しています。ぜひ一度「浜商デパート」に足を運んでみてください。



情報処理科3年
板本大輝さん
(浜田二中出身)

模擬株式会社

浜商デパートは全校生徒で組織する模擬株式会社で運営されています。生徒が社長や各事業部長、各店舗の店長となり、他の生徒が社員として会社を経営していきます。この会社は、「浜商から浜田市を元気にする!」という目的で運営されており、浜商デパートに3,000人の集客を行うことを目標にしています。

浜商デパートの3つの柱

浜商デパートは3つの事業を柱にし、経理や駐車場、環境整備などの活動も生徒が中心に行っています。

- ①商品販売(7つの専門店)
- ②イベント運営
- ③環境衛生対策



開催時間
・午前の部(10:00~11:30)
・午後の部(13:00~14:30)

フード販売
イベント

1/15 Sun

体育館店舗
・観劇ラート
・地元名産品
・パン

野菜・鮮魚
・駄菓子
・和洋菓子



浜商デパート2020ポスター



開店前 あいさつ練習



イベント部による店内放送



消毒協力の呼びかけ

浜商デパートの1年のあゆみ

- 6月 設立総会
- 7月 係分担決定
- 9月 取扱商品決定
- 10月 ポスター・プログラム作成
仕入商品決定・ポスター配布
- 11月 **浜商デパート**
ケーブルテレビCM放送
- 2月 株主総会(決算報告)

IT人材育成事業

情報処理科ではICTを活用して地域に新たな仕事を創造する起業人を育成しています。ICTの最新技術、プログラミングの学習に加え、Steve Blank氏（スタンフォード大学）が提唱する顧客開発モデルの実践プログラム「リーンローンチパッド」を取り入れ、身近な課題から新たなサービスを考案する実践的な授業を行っています。その他、テレビ会議システムを使い、全国の経営者、エンジニアをつなぎ、仕事の内容から、生き方まで、幅広く学ぶことができます。

身近な困りごとがビジネスに???

私たちの身の回りにある困りごとをビジネスに変えていく事ができます。高校生ならではの視点で、大人もびっくりのビジネスの卵が毎年生まれています。講座の最後には、投資家や地元企業経営者に向けてビジネスプランを発表します。県内外のビジネスプランコンテストにも応募します。

あなたが考えたプランが投資家に認められ、投資してもらえるかもしれませんよ???



ブレインストーミングでみんなでアイデアをだす

講師はIT企業から

このIT人材育成事業は地元IT企業から講師に来ていただきます。会社で実際に使用されている技術やツールを学び、実践的に学習を進めていきます。また、教室を東京や大阪とテレビ会議システムで接続し、企業の方から講義を受けたりすることもあります。



e-Front 島根支社 佐々木大輔 支社長
(本校卒業生)



ビジネスプランをまとめ発表します

シリコンバレーの最新事業創造プログラム

新しいビジネスを創ることは、大人でも大変難しいものです。そこで、浜田商業高校では、アメリカのシリコンバレーで多く使われており、日本の大手企業や大学が最近採用し始めたサービスアイデア開発(デザイン思考)、仮説検証による事業創造プログラム(リーンローンチパッド)を取り入れています。

H28～30まで、リーンローンチパッドを日本に紹介した専門家(アントレプレナーズラボ(堤氏、飯野氏))を招聘して直接講義を受けました。

- ①デザイン思考で新しいアイデアを生み出す
 - ②課題の深掘り、解決方法のアイデア出し
 - ③アイデアを事業プランへブラッシュアップ
 - ④課題を持つ方へのインタビューと、プランのブラッシュアップ
 - ⑤課題・解決策の提案
- ①～⑤を繰り返して実施し、ビジネスプランを作る手法を身に着けます。



中間発表でプランに対してアドバイスを受けます



投資家や経営者を前にプランを発表します

IT企業に就職して頑張ってます！(地域IT人材育成事業の1期生)



株式会社 CMC Solutions
丸田 絢憂さん (2018年3月卒)
(江津中出身)

現在、農業系クラウドサービスをRuby言語を用いて開発しています。在学中に学んだITの基礎知識やプログラミング手法が日々の業務では欠かせません。また、課題解決に向けてサービスを提案する授業が、新人研修のグループ作業や発表に役立ちました。

当社新入社員はプログラミング未経験者も多い中、丸田さんは入社前からITの基礎を身に付けており、同期生と比較して理解が速く、大いに活躍されています。今はプログラミング開発が主な業務ですが、将来は設計などの上流工程を担い、課題解決の力を存分に発揮してほしいと期待しています。



丸田さんの上司
株式会社 CMC Solutions
梶村 達也さん